



浄心こどもの城 園だより

# つくし

2020. 9. 29



先日行われました運動会では、子ども達の姿にたくさんの声援をありがとうございました。いつもとは違った形の開催となりましたが、子ども達にとっては楽しみにしていた運動会。お父さん、お母さんの前で、カー杯頑張ってくれましたね！当日までの練習や、お友達の応援してくれる声。家族の皆さんの見守る笑顔、聞こえてきた拍手…すべてがきっと、ステキな思い出です♪

## 10月生まれのおともだち

### ◎ひまわり組 (6才)

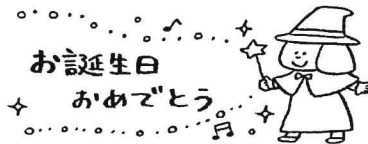
- ・おおた ゆずちゃん (8日)
- ・かわばた そらくん (19日)
- ・すみ もあちゃん (28日)

### ◎ゆり組 (5才)

- ・たなか らんまるくん (1日)
- ・さとう ひろとくん (31日)

### ◎たんぽぽ組 (4才)

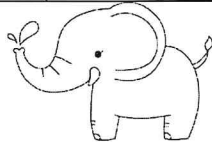
- ・かわあい ゆずかちゃん (7日)
- ・かさの あらたくん (18日)
- ・あかつか ゆわくん (20日)



### 《10月の行事予定》

#### 【お知らせ・お願い】

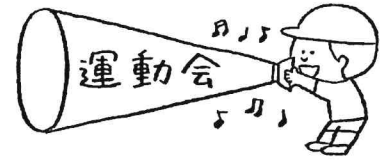
- ・10月より、丹羽洋子先生によるキャンディータイムがスタートします。ダンスや、お話など子ども達が楽しく英語に触れられる時間です♪
  - ・5日(月)は、“かりんとう”さんによる、おはなしパフォーマンスを鑑賞します。
  - ・8日の長良川鉄道見学会、22日の修園旅行は、ひまわり組の行事となります。詳細は後日クラスだよりを配布します。
  - ・13日(火)は園庭にて鼓隊公演を行います。  
時間：10時より  
観覧対象：ゆり組、ひまわり組の保護者の皆さん  
※密を避けるため、ご両親のみとさせていただきます。
- ※10月2日に着替え袋を持ち帰ります。薄手の長袖など、調節しやすい衣服への衣替えをお願いします。すべての衣服に記名があるか、確認してください。

日	月	火	水	木	金	土
10月のうた♪ 『ぞうさんのぼうし』 				1 子育てサークル 諸費通知	2 キャンディータイム (ひまわり)	3 希望保育
4	5 おはなしパフォーマンス 10:30~	6 コスモス苑訪問 (鼓隊)	7 令和3年度 入園説明会	8 子育てサークル 長良川鉄道見学会	9 キャンディータイム (ゆり)	10 希望保育
11	12	13 鼓隊公演 (ゆり・ひまわり)	14 避難訓練	15 子育てサークル わいわいデー	16 キャンディータイム (たんぽぽ)	17 希望保育
18	19	20	21 お誕生日会	22 子育てサークル 修園旅行	23 ハロウィンパーティー	24 希望保育
25	26	27	28 交通安全指導	29 子育てサークル	30 キャンディータイム (ひまわり)	31 希望保育

## わいわいデーについて

10月15日のわいわいデーは、みんなで“運動会ごっこ”をします。

【運動会ごっこプログラム】



No.	種目名	参加クラス
★	開会式	
1	紅白玉入れ	全クラス
2	かけっこ	すみれ・ひよこ
3	つな引き	ひまわり・ゆり・たんぽぽ
4	大玉転がし	全クラス
★	閉会式	

- ・雨天：ホールで行います
- ・持ち物：赤白帽子、水筒（ひよこ組は必要ありません）
- ・内容：プログラムの通り、様々な種目に挑戦して楽しめます。また、この他にも、ひまわり組さんが障害物競争で使用した運動器具に挑戦するコーナーや、実際に運動会で踊ったお遊戯の曲を流してみんなでダンスを楽しんだりする予定です。

## 研修会に参加して…



先日参加した研修会で聞いたお話を紹介します。みなさん、子ども達の『なんで?』『どうして?』という問いかけにどう応えていますか??何気ない日常の中に飛び交う質問に対して、“忙しいから後でね!”とか、“そんなこと聞かれても分からない”と困った経験、ありませんか?私もそうです…時には応えることが面倒だなあと感じてしまう事もありました(…ごめんね!)

子ども達の成長過程には、“質問期”と呼ばれる時期があります。

### ★質問期（なぜなぜ期）

- おおよそ2~3歳：『これ、なあに?』『あれ、なあに?』
  - ・言葉話す事が楽しい!
  - ・目の前のモノの名前を知りたい!
- おおよそ4~5才：『なんで?』『どうして?』
  - ・物事の性質や仕組みにも目を向ける
  - ・不思議なことを追求したい!

知的好奇心や、学ぶ意欲を伸ばす重要な時期



年齢によって、質問の内容は変わりますが、子ども達の『なぜ??』『どうして??』と尋ねる姿には、自ら学ぶ力があふれているんです。自分が見つけた疑問や、不思議を、大好きな大人と共有し、一緒に解決することで、次も試してみよう!とか、また考えてみよう!という意欲につながっていくと言われました。まさにそれは、小学校以降の学びにもつながっていく大切な力ですね!そう思ったら、生活の中の小さな『なんで?』にも、応えてあげなきゃなあと思いました。

なんでも完璧にこたえなくては!!と思うと大変ですが、今回の講師の先生は、こんな風に言ってみえました。

- 子どもは、必ずしも、『こたえ』を求めているとは限りません  
分からなければ、『分からない』でもOK!不思議さの共有は、子どもにとって大切な経験です。一緒に調べてみてはどうですか。
- 子ども自身が考えることに重要な意味がある  
分からないから『もっと知りたい』と思える。  
『どうしてだと思おう?』と尋ねてみると、子どもは自ら考えて、話し出すかもしれませんよ。
- 子どもは大人との会話を楽しみたい  
一緒に会話することを求めているだけなのかも。  
たとえ答えにたどり着かなくても、会話を楽しんでみてはどうですか?  
こんな風に言ってもらえると、少し肩の荷が下りるような感覚になりませんか?

子ども達に必要なのは、あたたかいまなざしと心のかもった返答です

世の中には、私たち大人も知らないような不思議がいっぱいです。目の前にいる子ども達と一緒に、その“不思議”を楽しんでみませんか?